

手順： Fiery Impose による用紙サ イズに応じたギャングアッ プ自動化



手順：Fiery Impose による用紙サイズに応じたギャングアップ自動化

機能概要

ギャングアップ印刷では、印刷シートより小さい複数の画像を 1 つのグループにまとめて、シート表面の印刷範囲を最大化する必要があります。よくある用途としては、名刺、はがき、チケットなどの印刷があります。

従来、ユーザーは特定の商品や用紙サイズに基づいてテンプレートを作成しています。印刷会社は、新しい商品を製造する必要があるたびに、その商品タイプに使用可能な用紙サイズごとに新しいテンプレートを作成する必要があります。

Fiery Impose の新しいギャングアップ機能を利用すると、テンプレート数を 5 つ（用紙サイズごとに 1 つ）に減らすことができ、今後のジョブ自動化に向けてほんの 5 つの自動化ワークフローを維持管理するだけでよくなります。Fiery Impose が、書類に定義されているトリムボックスを使用し、印刷に望ましい用紙サイズを考慮して、最適なレイアウト（N-up および方向）をその場で計算します。

この機能を使用して作成された面付けテンプレートは、サーバープリセット、ジョブのプロパティ、Fiery 仮想プリンター、Fiery Hot Folders、Fiery JobFlow ワークフローで利用できます。

ゴール

- 用紙サイズに応じたギャングアップレイアウトを作成する
- 面付けテンプレートを作成する
- 面付けテンプレートをホットフォルダーに適用する
- ホットフォルダーを使用してギャングアップジョブを送信する

その他のリソース

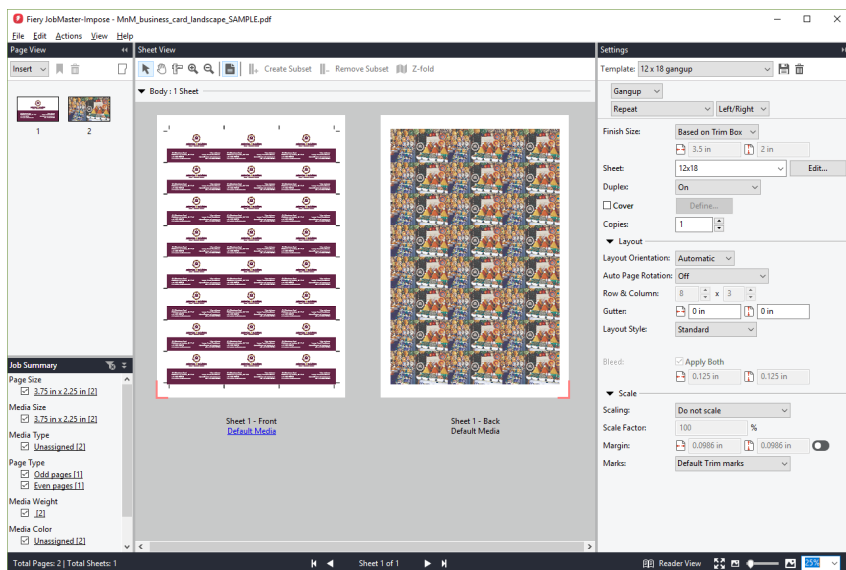
その他のソフトウェアダウンロードやトレーニングリソースについては、[Fiery オンラインリソース](#)を参照してください。

はじめに

- Fiery Command WorkStation® 6（またはそれ以降）を起動し、Fiery FS300/FS300 Pro を実行している少なくとも 1 つの Fiery サーバーに接続してください。
- Fiery Command WorkStation を実行しているコンピューターで Fiery Impose のライセンスをアクティベートします。Fiery Impose は、完全なライセンスモードかトライアルモードのどちらかで使用できます。
 - Fiery Impose の 30 日間無料試用版を申し込むには、<http://fiery.efi.com/impose/freetrial30> にアクセスしてください。

手順：Fiery Impose による用紙サイズに応じたギャングアップ自動化

- サンプルファイル
MnM_business_card_landscape_SAMPLE.pdf を Fiery サーバーの待機キューに送ります。ファイルを Command WorkStation の待機リストにドラッグするか、Command WorkStation のジョブのインポートメニューオプションを使用します。
 - Fiery Hot Folders をクライアントにインストールする必要があります。Fiery Hot Folders は、Fiery Command WorkStation のインストール時にデフォルトでインストールされます。
 - ファイル
MnM_business_card_potrait_SAMPLE.pdf および
MnM_postcard_SAMPLE.pdf のコピーをデスクトップに用意します。
 - 印刷を開始する前にプリンターと Fiery サーバーのキャリブレーションを行ってください。
- 「トリムボックスに合わせる」仕上がりサイズのライセンス要件
- 面付けテンプレートが作成される場所では、常に Fiery Impose ライセンスが必要です。
 - Impose テンプレートを使用するには：
 - Fiery Hot Folders および Fiery JobFlow を使用するには、クライアントに Fiery Impose のライセンスが必要です。
 - 仮想プリンター、サーバープリセットおよびジョブのプロパティを使用するには、Fiery サーバー（FS300 Pro 以降のみ）で Fiery Impose のライセンスが必要です。



用紙サイズに応じたギャングアップレイアウトを作成する

このセクションでは、面付け設定を定義し、シートを最大限に使用して名刺などの完成品を作成するギャングアップレイアウトを作成します。これは、はがきやチケットなどの他の完成品に利用できる面付けテンプレートとして保存することができます。

1. まず、Command WorkStation の待機リストでジョブ **MnM_business_card_landscape_SAMPLE.pdf** を選択し、右クリックして **Impose...** を選択します。
2. Fiery Impose が起動し、名刺のプレビューが表示されます。
3. 設定ペインに移動して、レイアウトメニューで**普通**を選択し**ギャングアップ**に変更します。
4. ギャングアップタイプを**唯一**から**反復**に変更します。
5. 選択した用紙サイズのシートが Fiery Impose で最大限に使用されるようにするには、**仕上がりサイズメニュー**で**トリムボックスに合わせる**を選択します。「仕上がりサイズ変更はブリード値をリセットします。」というメッセージが表示されます。OK をクリックしてウィンドウを閉じ、レイアウトを続行します。
6. ギャングアップレイアウトの印刷に使用するシートサイズとして、**12x18** や **SRA3** などを選択します。使用する用紙サイズを選択します。

7. レイアウト方向、行、列の各フィールドが、シートの印刷面を最大化するように自動的に定義されます。プレビューにギャングアップレイアウトが自動的に表示されます。
8. シートの両面に印刷する場合は、両面メニューから適切な両面印刷設定を選択します。この例では、**オン**を選択します。指定する両面オプションは、使用する Fiery Driven プリンターによって異なる場合があります。
9. **マークメニューで定義...**を選択して、完成品を最終仕上がりサイズに裁断するのに使用されるトリミングマークを追加します。
10. **マークウィンドウで、トリミングマーク印刷**をクリックします。
11. トリミングマークのスタイル、横の長さ、縦の長さ、トンボタイプ、トンボ幅、トンボカラーはカスタマイズできます。仕上げワークフローに必要な場合は、マークをオフセットすることもできます。この例では、デフォルトのトリミングマーク設定を使用します。
12. トリミングマークが仕上げの際に完全に除去されるようにするには、**マークをおもて面のみ印刷**を選択します。
13. 今後他の面付けレイアウトに適用する際にマークメニューから選択できるマークプリセットを作成するには、**プリセットメニュー**の横にある保存アイコンをクリックします。
14. **プリセットの保存**ウィンドウで、トリミングマークプリセットのわかりやすい名前を入力します。この例では、**デフォルトトリミングマーク**と入力し、**OK** をクリックします。
15. トリミングマークを定義したら、**OK** をクリックしてトリミングマークウィンドウを閉じます。
16. トリミングマークが追加されたレイアウトがプレビューに表示されます。

これでギャングアップレイアウトが完成しました。次のセクションでは、Fiery Hot Folders などのワークフロー自動化ソリューションを利用して適用できるテンプレートとしてレイアウトを保存する方法を学びます。

面付けテンプレートを作成する

このセクションでは、選択した用紙サイズのギャングアップレイアウトに使用される面付けテンプレートを作成します。テンプレートのみ保存されます。ワークフロー自動化ソリューションを利用して指定の用紙サイズにギャングアップレイアウトを自動的に適用する方法を実地に説明するため、レイアウトは保存されません。

1. Fiery Impose の**設定**ペインで、保存アイコンをクリックして Fiery Impose テンプレートを作成します。

2. 保存ダイアログウィンドウが開いたら、面付けテンプレートのわかりやすい名前を入力します。この例では、レイアウト用にもともと選択した用紙サイズに応じて、**12x18 ギャングアップ**か **SRA3 ギャングアップ**のどちらかを入力します。
3. **OK** をクリックして、テンプレートウィンドウを閉じます。
4. この名前がテンプレートメニューに表示されるようになります。
5. これでテンプレートが保存されたので、右上隅の **X** をクリックします。
6. この演習の目標は、Fiery ホットフォルダーに適用されるテンプレートを作成することです。
7. **いいえ** をクリックして、レイアウトを保存せずに Fiery Impose を閉じます。

面付けテンプレートが保存され、ジョブのプロパティ、Fiery Hot Folders、Fiery JobFlow を使用してジョブに適用することができます。次のセクションでは、面付けテンプレートを Fiery ホットフォルダーに割り当てる方法を学びます。

面付けテンプレートをホットフォルダーに適用する

このセクションでは、面付けテンプレートをホットフォルダーに適用して、ギャングアップジョブの送信を自動化します。

1. Fiery Command WorkStation を最小化します。
2. デスクトップの Fiery Hot Folders アプリケーションをダブルクリックします。
3. 新規ホットフォルダーを作成するには、ツールバーの新規をクリックします。
4. そのホットフォルダーのわかりやすい名前を入力します。これにより、そのホットフォルダーを使用して送信されるジョブに適用されるジョブアクションを識別しやすくなります。この例では、レイアウト用にもともと選択した用紙サイズに応じて、12x18 ギャングアップか SRA3 ギャングアップのどちらかを入力します。
5. ホットフォルダーの場所を選択します。これは、Fiery Driven プリンターに送信されるファイルをドラッグアンドドロップする場所です。デフォルトでは、ホットフォルダーはデスクトップに配置されます。この演習では、デフォルトの場所を使用します。
6. ホットフォルダーから送信されたジョブを受け取る Fiery サーバーを選択するには、サーバー名フィールドの横にある選択をクリックします。

7. サーバーに接続ウィンドウで、Fiery サーバーの名前か TCP/IP アドレスのどちらかを入力するか、検索アイコンをクリックしてネットワーク上の Fiery サーバーを一覧表示して選択することができます。サーバーを選択したら、接続をクリックします。その Fiery サーバーがサーバー名フィールドに表示されます。
8. ジョブアクションメニューを選択して、ホットフォルダーを通じて送信されたジョブを Fiery サーバーが処理する方法を定義します。オプションには、印刷、直接、待機、印刷後待機、処理後待機、印刷後削除、およびブループ印刷があります。各設定の詳しい説明については、オンラインヘルプを参照してください。この例では、処理後待機のジョブアクションを選択します。これにより、ファイルは処理された後、待機リストに保持されます。印刷前にジョブをプレビューすることができます。
9. 作成済みの面付けテンプレートを適用するには、ジョブのプロパティメニューから定義を選択します。
10. ジョブのプロパティウィンドウが開いたら、レイアウトタブを選択します。
11. Impose ラジオボタンを選択します。
12. レイアウトタブのテンプレートメニューから、作成済みのカスタムテンプレートを選択します。この例では、12x18 ギャングアップか SRA3 ギャングアップのどちらかを選択します。
13. OK をクリックしてこれらのジョブプロパティを適用し、ホットフォルダー設定ウィンドウに戻ります。
14. 最後に、OK をクリックしてホットフォルダーを作成し、使用しているコンピューターのデスクトップに公開します。

どのようなサイズの書類でもホットフォルダーにドロップすれば、Fiery サーバーに送信されます。ギャングアップ面付けが適用され、シートの印刷面が最大になる行数と列数が自動的に計算されます。次のセクションでは、2 種類の異なるサイズの書類をホットフォルダーに送信します。

ホットフォルダーを使用してギャングアップジョブを送信する

このセクションでは、2 種類の異なるサイズの書類を送信して、用紙サイズ機能によるギャングアップ自動化を実際に試します。

1. Fiery Hot Folders を最小化します。
2. MnM_business_card_portrait_SAMPLE.pdf ファイルを見つけます。

3. キーボードの Ctrl キーを押しながら、そのファイルを 12x18 ギャングアップまたは SRA3 ギャングアップという名前のホットフォルダーにドラッグします。これにより、送信されるファイルのコピーが作成され、元のファイルは保持されます。
4. ファイルが Fiery サーバーに送信され、面付けテンプレートが適用された後、ジョブが処理されて待機リストに入ります。
5. Command WorkStation に切り替えて、ジョブをプレビューします。
6. 待機リストの先頭にある MnM_business_card_portrait_SAMPLE.pdf.dbp ジョブを選択します。Fiery Command WorkStation の右側のプレビューペインに、面付けレイアウトのプレビューが表示されます。
7. もっと大きいウィンドウでジョブをプレビューするには、ジョブを右クリックしプレビュー...を選択して、Fiery プレビューを開きます。
8. 12x18 または SRA3 シートにトリミングマークの付いた 3 行 8 列のギャングアップレイアウトで、名刺ジョブのプレビューが表示されます。
9. プレビューウィンドウを閉じます。
10. 次に、名刺ジョブとは異なるサイズのはがきジョブを面付けします。
11. Command WorkStation を最小化します。
12. キーボードの Ctrl キーを押しながら、デスクトップの MnM_postcard_SAMPLE.pdf ファイルを 12x18 ギャングアップまたは SRA3 ギャングアップという名前のホットフォルダーにドラッグします。これにより、送信されるファイルのコピーが作成され、元のファイルは保持されます。
13. ファイルが Fiery サーバーに送信され、面付けテンプレートが適用された後、ジョブが処理されて待機リストに入ります。
14. Command WorkStation に切り替えて、ジョブをプレビューします。
15. 待機リストの先頭にある MnM_postcard_SAMPLE.pdf.dbp ジョブを選択します。Fiery Command WorkStation の右側のプレビューペインに、面付けレイアウトのプレビューが表示されます。
16. もっと大きいウィンドウでジョブをプレビューするには、ジョブを右クリックしプレビュー...を選択して、Fiery プレビューを開きます。
17. 12x18 または SRA3 シートにトリミングマークの付いた 2 行 4 列のギャングアップレイアウトで、はがきジョブのプレビューが表示されます。

これで以下を正常に完了しました。

- トリムボックスに合わせて新しい Fiery Impose 機能を使用する面付けテンプレートを作成する
- この面付けテンプレートを適用するホットフォルダーを作成する
- このホットフォルダーを使用して 2 種類のサイズの書類を送信し、書類ごとにシートの印刷面を最大化するギャングアップレイアウトを自動的に印刷する

EFI fuels success.

We develop breakthrough technologies for the manufacturing of signage, packaging, textiles, ceramic tiles, and personalized documents, with a wide range of printers, inks, digital front ends, and a comprehensive business and production workflow suite that transforms and streamlines the entire production process, increasing your competitiveness and boosting productivity. Visit www.efi.com or call 650-357-3500 for more information.



Nothing herein should be construed as a warranty in addition to the express warranty statement provided with EFI products and services.

The APPS logo, AutoCal, Auto-Count, Balance, BESTColor, BioVu, BioWare, ColorPASS, Colorproof, ColorWise, Command WorkStation, CopyNet, Cretachrom, Cretaprint, the Cretaprint logo, Cretaprinter, Cretaroller, Digital StoreFront, DirectSmile, DocBuilder, DocBuilder Pro, DockNet, DocStream, DSFdesign Studio, Dynamic Wedge, EDOX, EFI, the EFI logo, Electronics For Imaging, Entrac, EPCount, EPPhoto, EPRegister, EPStatus, Estimate, ExpressPay, FabriVU, Fast-4, Fiery, the Fiery logo, Fiery Driven, the Fiery Driven logo, Fiery JobFlow, Fiery JobMaster, Fiery Link, Fiery Navigator, Fiery Prints, the Fiery Prints logo, Fiery Spark, FreeForm, Hagen, Inkintensity, Inkware, LapNet, Logic, Metrix, MicroPress, MiniNet, Monarch, OneFlow, Pace, Pecas, Pecas Vision, PhotoXposure, PressVu, Printcafe, PrinterSite, PrintFlow, PrintMe, the PrintMe logo, PrintSmith, PrintSmith Site, PrintStream, Print to Win, Prograph, PSI, PSI Flexo, Radius, Remoteproof, RIPChips, RIP-While-Print, Screenproof, SendMe, Sincolor, Splash, Spot-On, TrackNet, UltraPress, UltraTex, UltraVu, UV Series 50, VisualCal, VUTEk, the VUTEk logo, and WebTools are trademarks of Electronics For Imaging, Inc. and/or its wholly owned subsidiaries in the U.S. and/or certain other countries.

All other terms and product names may be trademarks or registered trademarks of their respective owners, and are hereby acknowledged.